



第4時 【アドバイス作成】

1 ねらい

◎相手の立場を尊重しながら研究内容に対して助言を書くことができる。

2 準備

- ①教師
 - 学習シートNo.5 「中間発表の進め方・説明の仕方」(参考用)
 - 学習シートNo.6 「アドバイスシート」(記入用)
 - 中間発表レポート集 (レポートを班の人数分印刷したもの)
- ②生徒
 - 学習シートNo.1 「学習計画・自己評価シート」(記入用)
 - 学習シートNo.4 「中間発表レポートシート」(記入済み)

3 評価項目 (学習活動3 : 学習シートNo.6)

◎友達の研究内容のよさに着目した建設的な助言を学習シートに書いている。

4 展開

学習活動	学習への支援	時間	担当	学習シート
1. 学習計画を確認し、本時のねらい、学習の流れを知る。 【学年：一斉学習】	○前時の学習を振り返りながら題材の学習計画を再確認した後、本時の学習課題を示すとともに、 学習シートNo.5 を配付して中間発表の具体的な進め方を説明することによって、本時の学習に対して見通しをもって取り組めるようにする。	5	大竹	No1
2. 助言の視点と書き方を知る。 【学年：一斉学習】	○ 学習シートNo.6 に沿って書き方を説明し、具体的に理解できるようにする。 ○「 中間発表レポート集 」を配付して同一班内の友達のレポートを読み、自分の研究内容や考えと比較しながら学習シートに助言を書くようにする。	5	↓	No6
3. 友達のレポートを読み、 学習シートNo.6 に助言を書く。 【学級：個別学習】 ＜助言の視点＞ ○ 「情報整理」 ○ 「考えや意見」 ○ 「その他」	○多様な考え方や意見に触れられるよう、テーマの異なる生徒4～5名の小集団を事前に編成しておく。 ○助言の視点として事実に関する「情報整理」と意見に関する「考えや意見」を示し、これまでの学習が生かせるようにする。 ○助言の内容は、「よい点・参考になる点」と「質問・アドバイス」を記入し、友達の研究のよさに目を向けて共感的に考えられるようにするとともに、よりよい内容にするために批判的な見方をしながら自分の考えが深められるようにする。 ○友達への助言を書き終えた生徒には、他者の考えと比較しながら自分の考えが深められるよう、自分の研究内容についても同様に記入するようにする。 ○なかなか助言が書けない生徒には、具体的な視点や考え方を示しながら個別に支援する。	35	大竹 担任 副担	↓
4. 本時の学習を振り返って評価し、次時への見通しをもつ。 【学級：個別学習】	○多様な視点で本時の学習を振り返り、以降の学習につなげるために、三つの項目(自己評価、他者評価、次時への見通し)について 学習シートNo.1 に記入する。 ○次時は、自分の研究内容を相手に分かりやすく説明するためのメモを作成することを伝え、学習の見通しがもてるようにする。	5	↓	No1